



生涯学習センター図書コーナーだより

Vol.9 2026. Aug.

鳥栖市教育委員会生涯学習課 (Tel0942-85-3694)

Marilyn Prefers Books

8月5日は、マリリン・モンローの命日です。映画『紳士は金髪がお好き(Gentlemen Prefer Blondes)』などたくさんの映画に出演し、大女優として知られる彼女ですが、実は熱心な読書家だったことをご存知ですか？

彼女の遺品からは、ジェームズ・ジョイス、マーク・トウェイン、ウォルト・ホイットマンといった、文学書や詩集など400冊以上の本が見つかっています。今月は、彼女の知的な素顔をのぞかせる愛読書の中で生涯学習センターに所蔵している本を紹介します。

○「ハックルベリーフィンの冒険(マーク・トウェイン 著)」(英

語版もあります。) 社会のルールに縛られず、自分の心に従っ

て生きる少年ハック。ハリウッドという巨大な大人の世界で、常に「本当の自分」を探し続けたマリリン・モンロー。彼女の魂を動かしたアメリカ文学の源泉を、いま一度。

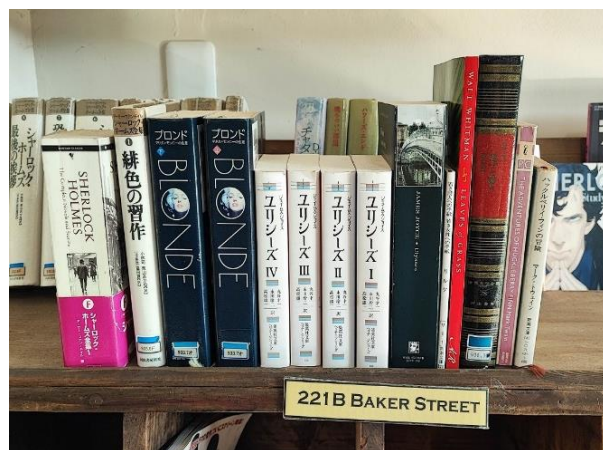
○「息子と恋人(D.H.ロレンス 著)」 巨匠ロレンスが、歪んだ母子愛と男女の情念を描いた名作『息子と恋人』マリリン・モンローが異なる装丁で2冊も手元に置いたほど愛した作品です。

○「Leaves of Grass(ウォルト・ホイットマン 著)」(英語版) アメリカを代表する大詩人の作品。マリリン・モンローがこの詩集を大切に読んでいる美しい写真も残っています。自由と生命力を歌った詩です。

○「若き詩人への手紙(ライナー・マリア・リルケ 著)」 一人の青年が直面した生死、孤独、恋愛、創作などへの純粋な苦悩に対して、孤独の詩人リルケが深い共感にみちた助言を送りつづけた書簡集。マリリン・モンローは、フランスのファッション誌『マリ・クレール』1960年10月号インタビューで『若き詩人への手紙』という本にはとても力づけられた。あれを読まなかったら、私はいつか本当に頭がおかしくなっていただろう』と言っています。

○「ユリシーズ(ジェームズ・ジョイス 著)」(英語版もあります。) 20世紀文学の中で最も難解とも言われる実験的小説。1955年水着姿のマリリン・モンローがこの本を熱心に読みふける1枚の美しい写真(「ユリシーズと我ら」という本の表紙になっている。)が残されています。知られざる「読書家マリリン」を象徴する作品です。

※関連本として、「ブロンド マリリン・モンローの生涯」を紹介します。ジョイス・C・オーツによる事実を基にした「フィクション(創作)」です。当時のアメリカのポップカルチャー、マッカーシズム(赤狩り)、共産主義を巡る政治的緊張など、マリリン・モンローが生きた1950年代の複雑な社会背景が緻密に背景へ織り込まれています。



8月の本棚

※ [Baker Street Irregulars' Information](#)

レストレード警部とグREGソン警部

二人はスコットランドヤード(ロンドン警視庁)のライバルで、事件に行き詰まるとホームズを頼ります。また、ホームズが解決した事件の功績を自分たちのものとして発表したりしますが、ホームズはそんなことは気にしません。ホームズはレストレードについては、「俊敏だが型にハマりすぎている」、グREGソンについては、「ヤードの中ではまともな男」「行動が素早い」などと評しています。初登場は、二人ともシャーロック・ホームズシリーズ最初の物語である『緋色の習作(研究)』です。

※Baker Street Irregulars(ペーカー街遊撃隊)

ストリートチルドレン達の集まりで、シャーロック・ホームズの協力者達 シャーロック曰く「スコットランドヤード(警官)より役に立つ。」